

消化器・一般外科学—Gastrointestinal & General Surgery—

I 教育の基本方針

消化器外科学ならびに一般外科学に対する基礎医学から臨床にわたる幅広い知識とあらゆる診断・治療技術を習得し、高い技術力と探究心および倫理観を兼ね備えた外科医を育成する。また、外科的疾患の病因と病態に関する研究手法を修得し、研究計画を立案・実行し、まとめ上げる能力を養成する。

II 年次毎の到達目標

1年次	各疾患について幅広い知識を習得し、診断・手術手技を習得する。
2年次	外科的疾患の病因と病態に関する研究手法を修得し、研究計画を立案する。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。成果の意義を考察し、当該研究の位置づけを明確にする。
4年次	研究成果を原著論文にし、学位を取得する。

III 担当教員・研究テーマ

教授	阿部 展次	<ul style="list-style-type: none"> <li>腹腔鏡下胃切除術・膵切除術に関する臨床研究</li> <li>ロボット支援下腹腔鏡下胃切除術に関する臨床研究</li> <li>内視鏡的胃全層切除術に関する臨床研究</li> <li>消化管管腔内遊離癌細胞に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>十二指腸腫瘍に対する新しい低侵襲治療法の確立</li> <li>十二指腸腺腫・腺癌における分子生物学的背景の解明</li> <li>胃癌発生の分子生物学的検討</li> </ul>
教授	阪本 良弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に対する肝胆膵外科手術周術期管理</li> <li>膵癌に対する集学的治療</li> <li>術前の予定残肝再生を利用した安全な肝切除</li> <li>安全な腹腔鏡下肝切除の導入</li> <li>3DシミュレーションやICG蛍光法を用いた安全な肝切除</li> </ul>
教授	須並 英二	<ul style="list-style-type: none"> <li>大腸癌に対する低侵襲治療に関する臨床研究</li> <li>ロボット支援下直腸癌手術に関する臨床研究</li> <li>直腸癌に対する集学的治療に関する研究</li> <li>血液中遊離DNAの臨床応用</li> <li>放射線化学療法効果に関する基礎的臨床的研究</li> <li>大腸転移機序に関する基礎的研究</li> </ul>
教授	森 俊幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>胆道膵臓外科、低侵襲外科治療</li> </ul>
教授	正木 忠彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>エビデンスに則った大腸早期癌の治療</li> <li>癌の浸潤先進部における遺伝子変異の検討</li> </ul>
准教授	鈴木 裕	<ul style="list-style-type: none"> <li>膵切除術の合併症対策</li> <li>嚢胞性膵腫瘍、肝内結石症、胆膵疾患の内視鏡治療などにおける臨床研究</li> </ul>

IV 研究指導補助教員

助 教 竹内弘久 吉敷智和  
助 教 長尾 玄 大木亜津子 橋本佳和 小暮正晴 松木亮太

V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開講年度	2019	開講時期	半期	標準履修年次	1年次	単位	4
科目名	講義・演習						
担当教員	阿部展次、阪本良弘、須並英二、森俊幸、正木忠彦、鈴木 裕						
曜日・時限等	春学期： 木曜日 4・5時限（15：00－16：30・16：45－18：15） 秋学期： 木曜日 4・5時限（15：00－16：30・16：45－18：15）						
教室等	S-7カンファレンスルーム						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、消化器・一般外科学において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器・一般外科学における基礎医学と臨床展開を理解する。</li> <li>2. 外科侵襲時の代謝の変動を説明できる。</li> <li>3. 外科領域における栄養・腸内細菌の重要性を理解し、説明できる。</li> <li>4. 消化器系腫瘍の病理学を理解する。</li> <li>5. 腫瘍発生・進展に関与する分子生物学的背景を理解し、説明できる。</li> <li>6. 臨床研究・基礎研究結果に対する有用な統計手法を理解し、実践できる。</li> <li>7. 経口内視鏡治療の適応を説明できる。</li> <li>8. 腹腔鏡下手術、ロボット支援手術の特性を理解し、その低侵襲性のメリットを最大化するための方略を理解する。</li> <li>9. 消化器系腫瘍に対する化学療法と放射線治療の適応、実際、問題点を説明できる。</li> <li>10. 消化器系腫瘍の病態・診断・周術期管理について深く理解を深める。</li> <li>11. 炎症性腸疾患の病態と治療を理解し、説明できる。</li> </ol>						
学習内容	消化器外科学ならびに一般外科学に対する基礎医学から臨床にわたる幅広い知識とあらゆる診断・治療技術を習得する。						
授業計画	回数	講義内容	担当	春学期	秋学期		
	第1回	消化器外科疾患の病態と診断学総論	阿部	04/18	09/26		
	第2回	消化器外科疾患の治療総論	阿部	04/25	10/03		
	第3回	外科腫瘍学概論	阿部	05/09	10/10		
	第4回	肝胆膵疾患の外科治療	阪本	05/16	10/17		
	第5回	内視鏡治療・腹腔鏡手術・開腹手術の適応と実際	阿部	05/23	10/24		
	第6回	放射線治療・化学療法の基礎的概論	阪本	05/30	10/31		
	第7回	外科侵襲・代謝学	須並	06/06	11/07		
	第8回	外科領域における栄養・腸内細菌の重要性	森	06/13	11/14		
	第9回	内視鏡外科におけるperceptual motor skill概論	森	06/20	11/21		
	第10回	内視鏡外科手術管理システム概論	森	06/27	11/28		
	第11回	大腸・小腸の良性疾患とくに炎症性腸疾患の病態と治療	須並	07/04	12/05		
	第12回	結腸癌に対する腹腔鏡手術	正木	07/11	12/12		
	第13回	直腸進行癌に対する放射線化学療法	正木	07/18	12/19		
	第14回	消化器系腫瘍に対する化学療法	正木	07/25	12/26		
	第15回	まとめ	正木	08/01	01/09		
課題レポートに対するフィードバックはコメントを入れて返却。口頭試験に対するフィードバックは、試験終了後に解答の解説をする。							
準備学習と授業外の学習方法	授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	各種消化器系癌取り扱い規約および治療ガイドライン、標準外科学第14版（医学書院） その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	講義内容についてのレポート提出（50%） 口頭試問の実施（50%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni_v/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni_v/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時可能である。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	2年次又は、1-2年次	単位	8
科目名	実験・実習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	原則として、毎週火・水曜日の午前中（1・2時限）並びに、毎週月一金曜日の5時限 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-7カンファレンスルーム、臨床医学研究棟2階、中央手術室、消化器系外来、内視鏡室						
教育の基本方針	消化器外科学において必要とされる専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。当該研究に関する最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、その意義、問題点、残された課題について討論する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器・一般外科疾患の病態を理解し、病態・診断・治療技術を習得する。</li> <li>2. 治療・診断に必要な外科手技ならびに画像診断を習得する。</li> <li>3. 分子生物学など外科疾患における研究プロセスを学び、実験的手法を習得する。</li> <li>4. 消化器・一般外科の手術手技を身につける。</li> <li>5. 腹腔内臓器の解剖学的位置関係について理解し説明ができる。</li> <li>6. 臨床例の症例報告ができる。</li> <li>7. 症例集積研究ができる。</li> </ol>						
学習内容	研究テーマ領域に関する最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について考察する。						
授業計画	第 1- 60回 到達目標1～3の達成 第61-120回 到達目標4～7の達成  課題レポートに対するフィードバックはコメントを入れて返却。口頭試験に対するフィードバックは、試験終了後に解答の解説をする。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	各種消化器系癌取り扱い規約および治療ガイドライン、標準外科学第14版（医学書院） その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	実験内容のレポート提出（50%）ならびに口頭試問の実施（50%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni v/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni v/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単位	8
科目名	課題研究						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-7カンファレンスルーム、臨床医学研究棟2階、中央手術室、消化器系外来、内視鏡室						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。</li> <li>2. 正しく統計処理ができる。</li> <li>3. 結果を科学的に図表にまとめられる。</li> <li>4. 実験内容を正しく記載し記録できる。</li> <li>5. 追加実験を自分で立案できる。</li> <li>6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。</li> </ol>						
学習内容	研究成果と、当該研究テーマ領域に関する過去の研究結果との関連を考察し、当該研究の意義を明らかにする。						
授業計画	第 1- 10回 先行研究について 第 11- 15回 研究方法の検討 第 16- 99回 実験実施と検討 第100-120回 追加実験の検討  研究成果の発表に対するフィードバックは適宜口頭で行う。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定した信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	各種消化器系癌取り扱い規約および治療ガイドライン、標準外科学第14版（医学書院） その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	研究成果の発表（100%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni v/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni v/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、4年次	単位	4
科目名	研究論文演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-7カンファレンスルーム、臨床医学研究棟2階、中央手術室、消化器系外来、内視鏡室						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することと、論文作成方法を学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の成果を原著論文とする。</li> <li>2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。</li> <li>3. 博士論文の完成</li> </ol>						
学習内容	研究成果を原著論文にする手法を学ぶ。						
授業計画	第 1- 5回 論文データ収集 第 6-10回 引用可能な文献の選抜 第11-15回 論文の全体の流れの確認。 第16-30回 学位論文作成 研究成果の論文に対するフィードバックは書面のやりとりをもって行う。						
準備学習と授業外の学習方法	今回指導した内容に基づき次回までに論文原稿の当該箇所を修正しておくこと。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	標準外科学第14版（医学書院） 各種癌治療ガイドライン その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	論文の作成（100%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni v/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyori-n-u.ac.jp/uni v/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時可能。						